

自殺対策計画進捗確認シート I-①

資料3-1①

市町村名〔 吹田市 〕

記入担当課〔

氏名 〕

記入時

計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	再掲	令和4年度実施状況	令和4年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)	今後(令和5年度)の実施計画
<b>基本施策1 地域におけるネットワークの強化</b>									
吹田市自殺対策推進庁内会議実務担当者会議の開催	吹田市自殺対策推進庁内会議実務担当者会議の開催数	25	健康医療部	地域保健課		1回実施(1月19日)	新型コロナ感染拡大に伴い対面で1回開催とした。	100%	年3回開催
吹田市自殺対策推進庁内会議実務担当者会議の参加機関	吹田市自殺対策推進庁内会議実務担当者会議の参加機関数	25	健康医療部	地域保健課		3機関参加(吹田市・吹田市教育委員会・社会福祉協議会)	中核市移行後は3機関が最大。	100%	3機関参加
<b>基本施策2 自殺対策を支える人材の育成</b>									
市職員に対するゲートキーパー研修の実施	市職員向けゲートキーパー研修の開催	27	総務部・健康医療部	人事室 地域保健課		未実施	【人事室】 令和5年度は実施予定。	0%	【人事室】 年2回実施
様々な分野におけるゲートキーパーの養成	関係機関向けゲートキーパー研修の開催	28	学校教育部 健康医療部	教育センター 地域保健課		小・中学校教員向けに1回実施(10月18日(水)に実施)。 市内大学、関係機関へ7回実施。	【教育センター】 児童・思春期における、子供の心の不調を予防することや、問題への対応として、必要性を感じた。	100%	継続実施
<b>基本施策3 市民への啓発と周知</b>									
リーフレットやポスターなどの作成・配布	各種相談窓口などを掲載したリーフレット等の常設	29	健康医療部	地域保健課		80か所常設。	令和元年に常設目標達成済み。	80%	継続実施
リーフレットやポスターなどの作成・配布	各分野に合わせた自殺対策啓発リーフレットや啓発媒体の配布	29	健康医療部	地域保健課		80か所配布。	若年向けのリーフレットの配架を大学・高校中心に配布。	80%	今後も範囲を広げて配布
インターネットを活用した情報の提供	自殺対策の啓発情報の発信	30	健康医療部	地域保健課		18回	ホームページ10回更新、SNSの情報発信4回、大学インターネット配信を4回実施した。	100%	継続実施
自殺対策関連の講演会・イベント等の開催	市民向け自殺対策関連講座の開催	30	健康医療部	地域保健課		1回	市内Drによる「こころのサインにきづこう」一般市民対象にYouTube配信にて実施した。	100%	継続実施。今後も実施方法を検討し、市民が安心して参加できるよう実施。
自殺予防週間と自殺対策強化月間での啓発	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせた市報やホームページでの啓発記事の掲載、懸垂幕の設置等	30	健康医療部	地域保健課		市報へ相談窓口等の掲載やSNS(TwitterやFacebook等)による情報発信、本庁舎ロビーにおけるパネル展示及びリーフレット配架等を実施。	庁内会議担当室課と協働し、自殺に関連する幅広い分野の啓発リーフレットの配架等を実施した。	100%	年2回、庁内会議担当室課と協働する
図書館における生きる支援に関する図書コーナーの設置	図書館における生きる支援に関する図書コーナーの設置	30	地域教育部	図書館		自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に合わせて年2回、市内各図書館で延べ14か所で特集コーナーを設置。	今年度も継続して閲覧室に図書の特集コーナー設置を実施できた。	100%	年2回実施
<b>基本施策4 生きることの促進要因への支援</b>									
自殺対策の観点を踏まえた生きる支援の取組の推進	ストレスを常に感じている人の割合	31	健康医療部	成人保健課 (健康まちづくり室)		男性5.8% 女性8.9% ※吹田市30歳代健診及び吹田市国保健康診査問診結果	ほぼ横ばいで推移しており、目標値を満たしていない。コロナ禍の自棄等によるストレスが増強しやすい環境は終わったが、引き続き経過を見る必要がある。	男性：22.2% 女性：40.0%	心身ともに健康なくらしを支える取組としてライフステージに応じた知識の普及啓発や支援を行うとともに、人とつながる場づくりや市民が安心や癒しが得られるような生活環境の提供を行う。 ※昨年度までの達成度の計算方法を修正 (達成率の計算方法) H35目標値-R4現状/H35目標値-H26現状
自殺対策の観点を踏まえた生きる支援の取組の推進	睡眠時間を規則正しくとれている人の割合	31	健康医療部	成人保健課 (健康まちづくり室)		85.7% ※吹田市30歳代健診及び吹田市国保健康診査問診結果	前年度よりわずかに下降。目標値には達成しなかった。規則正しい睡眠はメンタルヘルスの不調を防ぐため、引き続き増加を目指し取組を行っていく。	99%	心身ともに健康なくらしを支える取組としてライフステージに応じた知識の普及啓発や支援を行うとともに、人とつながる場づくりや市民が安心や癒しが得られるような生活環境の提供を行う。 (達成率の計算方法 R4状況/H35目標値)
自殺対策の観点を踏まえた生きる支援の取組の推進	自己肯定感のある子どもの割合	31	学校教育部	学校教育室		全国学力学習状況調査質問項目「自分には、よいところがあると思う」の肯定的回答割合。小学校82.8%。中学校77.4%。	自己肯定感・自己有用感を高める取組みを推進していく。	76.2%	実施を継続
遺された者への支援	自死遺族向けリーフレットの設置箇所数	31	健康医療部	地域保健課		5か所	令和元年度に達成済み	100%	継続実施